

2024 年第 2 週(1 月 8 日～1 月 14 日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2024 年(令和 6 年) 1 月 17 日作成

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 特記することなし。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2024 年 第 2 週	2 類	結核	5	男性、88 歳、結核性胸膜炎 男性、21 歳、肺結核 男性、67 歳、肺結核 男性、89 歳、無症状病原体保有者 女性、82 歳、無症状病原体保有者
2024 年 第 2 週	5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	男性、73 歳 男性、41 歳 女性、80 歳 男性、85 歳
2024 年 第 2 週	5 類	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)	2	男性、32 歳、無症状病原体保有者、感染経路：同性間性的接触、感染地域：国内 男性、52 歳、無症状病原体保有者、感染経路：異性間性的接触、感染地域：国内
2024 年 第 2 週	5 類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	男性、79 歳、菌検出検体：血液
2024 年 第 2 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	5	男性、85 歳、菌検出検体：血液 男性、50 歳、菌検出検体：血液 男性、88 歳、菌検出検体：血液 男性、40 歳、菌検出検体：血液 女性、4 歳、菌検出検体：血液

NIDWR

Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2024 年 第 2 週	5 類	梅毒	1	女性、30 歳、無症状病原体保有者
-----------------	-----	----	---	-------------------

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。
(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023 年 第 52 週	2 類	結核	1	男性、71 歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。
(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔2024 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	7（2）
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限り）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限り）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0

NIDWR

Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	レジオネラ症	1
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4
5 類感染症	後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）	2（2）
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	7
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	1
5 類感染症	梅毒	1（1）

累計は 2024 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、

【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

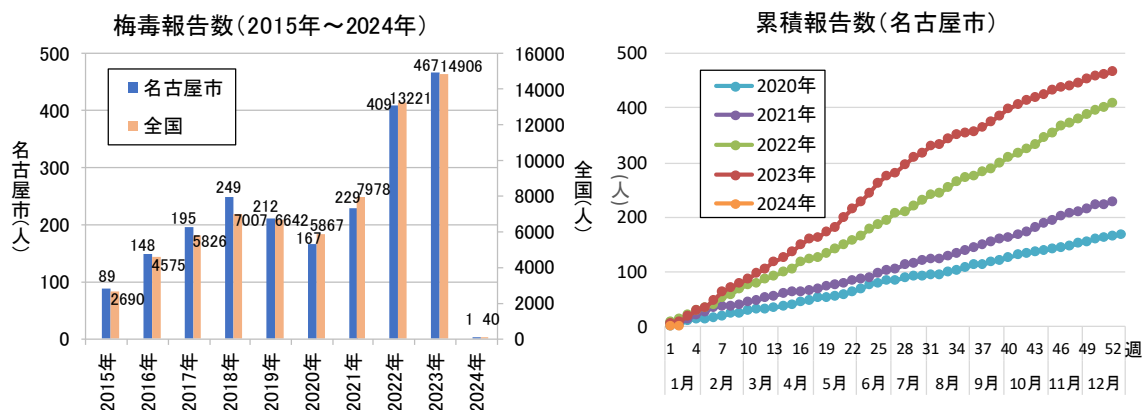
定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

B型インフルエンザは7歳男1名、11歳女1名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザA型6名、インフルエンザB型4名でした	定点医療機関（千種区）
インフル陽性うちB型は3件	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型13名 B型2名	定点医療機関（西区）
感染性胃腸炎はノロウイルス感染症	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型21名 B型4名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザは A17人 B3人です	定点医療機関（中村区）
1月8日祝日で休診でした	定点医療機関（中区）
検体数：1件@インフルエンザA型：15名@インフルエンザB型：5名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ 合計73名@A型 男性 46名@A型 女性 27名	定点医療機関（南区）

インフルエンザ A 型 18 名 インフルエンザ B 型 1 名	定点医療機関（守山区）
インフル A 型＝8 人@インフル B 型＝3 人@COVID-19 ＝11 人	定点医療機関（緑区）

〔名古屋市の梅毒報告数〕

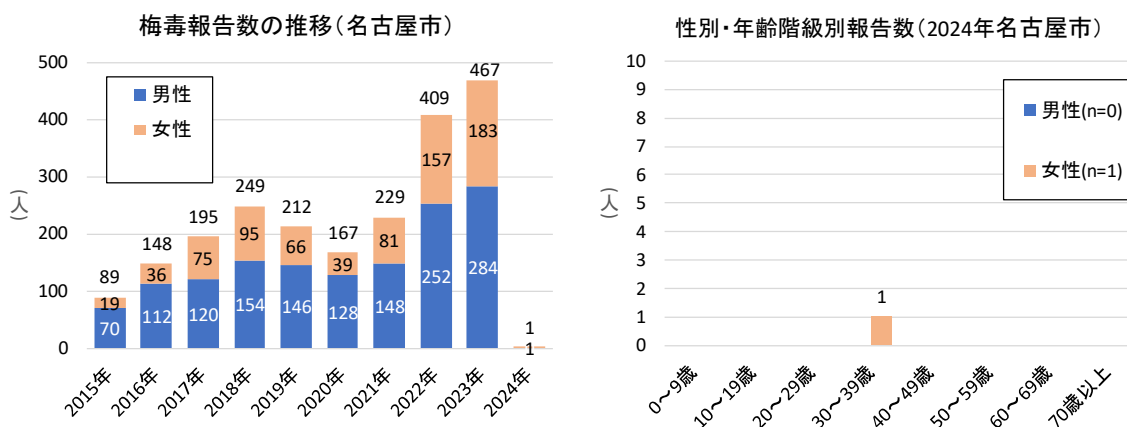
- 本市における梅毒の2024年の患者報告数は現在1人です。近年、梅毒の患者報告数が全国的に増加しており、本市における2023年（令和5年）の報告数は、過去最多の467人となっています。
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



梅毒報告数の推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
名古屋市	89	148	195	249	212	167	229	409	467※3	1※1
全国	2690	4575	5826	7007	6642	5867	7978	13221	14906※3	40※2

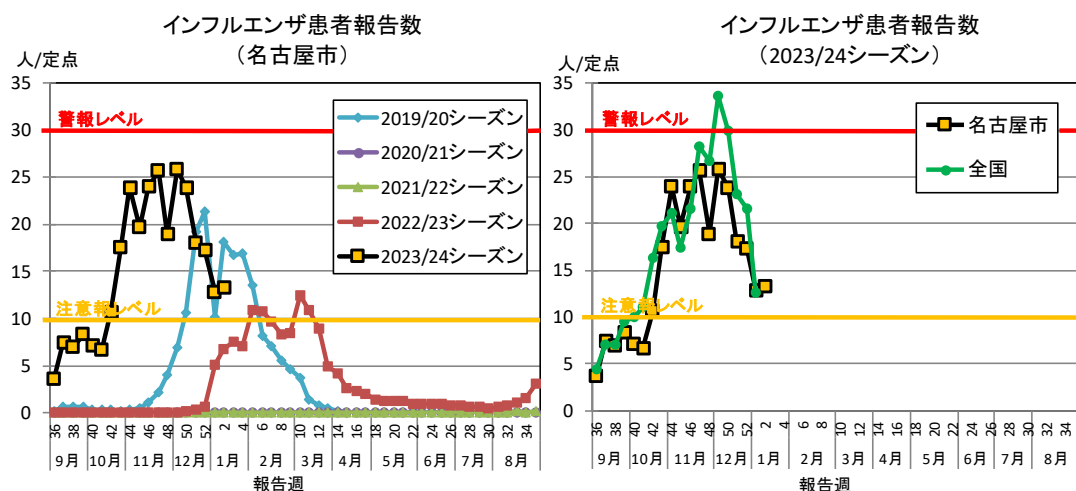
※1 第2週(1月14日)まで ※2 第1週(1月7日)まで ※3 報告数は速報値



〔トピックス：インフルエンザ（2023/24 シーズン）〕

- インフルエンザが流行しており、本市における 2024 年第 2 週（1 月 8 日～1 月 14 日）の市内 70 定点からのインフルエンザ患者報告数は 934 人、定点当たり患者報告数は 13.34 人で、前週比 1.03 倍でした。
- 本市の定点当たり患者報告数（16 区平均）は、国立感染症研究所が定める注意報の指標である「10」を上回っています。
- 愛知県では令和 5 年 11 月 9 日にインフルエンザ警報が発令されています。
- インフルエンザウイルスのうち AH3 亜型、AH1pdm09 亜型が検出されています。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1 日から 3 日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。1 週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必要です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2024 年 1 月 17 日作成〕



定点当たり患者報告数の推移

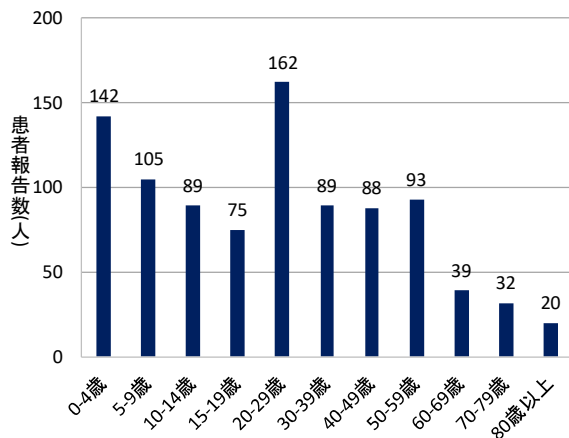
	第47週 (11/20～ 11/26)	第48週 (11/27～ 12/3)	第49週 (12/4～ 12/10)	第50週 (12/11～ 12/17)	第51週 (12/18～ 12/24)	第52週 (12/25～ 12/31)	第1週 (1/1～ 1/7)	第2週 (1/8～ 1/14)
名古屋市 (2023/24)	25.66 [1796]	18.97 [1328]	25.81 [1807]	23.91 [1674]	18.10 [1267]	17.29 [1210]	12.90 [903]	13.34 [934]
愛知県	32.23	25.02	32.88	32.95	25.48	22.47	16.94	—
全国	28.30	26.72	33.72	29.94	23.13	21.65	12.66	—
名古屋市 (昨シーズン)	0.04	0.07	0.07	0.19	0.33	0.71	5.06	6.76

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準

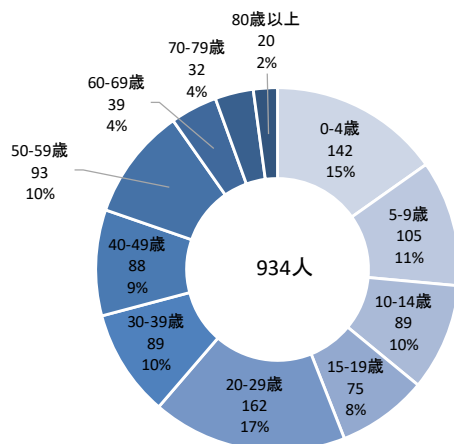
※報告数は各週公表時における速報値

※[]内は名古屋市内70定点からの患者報告数

定点からのインフルエンザの
年齢階級別患者報告数(2024年第2週)



年齢階級別患者報告数(2024年第2週)の割合



〔インフルエンザ関連リンク〕

- ・インフルエンザ情報（名古屋市）

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-9-0-0-0-0-0-0.html>

- ・インフルエンザ（総合ページ）（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

- ・インフルエンザウイルス分離・検出状況（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>



◆2024 年第 2 週 患者報告数（疾病区別）、定点あたり患者報告数（疾病区別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数(名古屋市)

2024年第2週(2024年1月8日～1月14日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
★インフルエンザ	43	47	57	75	74	55	57	13	31	117	58	102	54	53	60	38	934	1.0	5.9
★新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	52	29	41	54	68	32	73	34	36	94	45	99	38	59	23	28	805	1.3	
○RSウイルス感染症																	0		0.0
○咽頭結膜熱	10	2	1	4		3				7		6	3		3		39	0.7	6.5
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	3	5	14	2	18		1		15		4	2	8	4	1	90	1.6	6.8
○感染性胃腸炎	27		22	28	16	8	13			12	6	7	20	28	20	12	219	1.9	1.1
○水痘				1									1				2	0.3	0.7
○手足口病					1					1							2	1.0	0.5
○伝染性紅斑																	0	0.0	0.0
○突発性発疹			1									1		1	1		4	0.7	0.3
○ヘルパンギーナ																	0		0.0
○流行性耳下腺炎																	0	0.0	0.0
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎									1							2	3	0.3	4.5
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎							1										1		3.0
◇マイコプラズマ肺炎																	0		
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	145	81	127	176	161	116	144	48	68	246	109	219	118	149	111	81	2099		
※過去3年の同週の平均値との比																			
★インフルエンザ/COVID-19定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		
★○△◇は定点種別を示す。のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。																			

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2024年第2週(2024年1月8日～1月14日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	8.60	11.75	11.40	18.75	14.80	13.75	11.40	2.60	7.75	29.25	14.50	25.50	10.80	13.25	15.00	9.50	13.34
★新型コロナウイルス感染症(COVID-19)																	11.50
○RSウイルス感染症																	
○咽頭結膜熱	2.00	0.50	0.20	1.00		0.75				1.75		1.50	0.60		0.75		0.56
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.60	0.75	1.00	3.50	0.40	4.50		0.20		3.75		1.00	0.40	2.00	1.00	0.25	1.29
○感染性胃腸炎	5.40		4.40	7.00	3.20	2.00	2.60			3.00	1.50	1.75	4.00	7.00	5.00	3.00	3.13
○水痘				0.25									0.20				0.03
○手足口病					0.20					0.25							0.03
○伝染性紅斑																	
○突発性発疹			0.20									0.25		0.25	0.25		0.06
○ヘルパンギーナ																	
○流行性耳下腺炎																	
△急性出血性結膜炎																	
△流行性角結膜炎									1.00							2.00	0.27

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
突発性発疹	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■太字の数字は流行発生警報

■斜体の数字は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

* 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の区別定点あたり患者報告数は計上しておりません。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2024年第2週(2024年1月8日～1月14日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	2	15	31	27	27	40	23	25	28	16	13	89	75	162	89	88	93	39	32	20
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	5	17	20	9	8	13	5	4	5	7	5	33	36	120	70	102	100	72	66	108

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症														
咽頭結膜熱		2	2	8	7	1	5	3	3	2	3	3		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	9	8	7	9	14	6	5	3	11	5	8
感染性胃腸炎	4	12	25	21	16	17	18	12	16	9	7	12	5	45
水痘						1						1		
手足口病			1	1										
伝染性紅斑														
突発性発しん		3	1											
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎					1										1				1

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎													1			
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

患者報告数および定点あたり患者報告数の推移(名古屋市)

疾病名/調査週		第45週 (11/6～11/12)	第46週 (11/13～11/19)	第47週 (11/20～11/26)	第48週 (11/27～12/3)	第49週 (12/4～12/10)	第50週 (12/11～12/17)	第51週 (12/18～12/24)	第52週 (12/25～12/31)	第1週 (1/1～1/7)	第2週 (1/8～1/14)
インフルエンザ	患者報告数	1382	1679	1796	1328	1807	1674	1267	1210	903	934
	定点あたり患者報告数	19.74	23.99	25.66	18.97	25.81	23.91	18.10	17.29	12.90	13.34
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	患者報告数	179	152	185	266	328	395	458	481	641	805
	定点あたり患者報告数	2.56	2.17	2.64	3.80	4.69	5.64	6.54	6.87	9.16	11.50
RSウイルス感染症	患者報告数	1	2	1	1	1	1	0	1	0	0
	定点あたり患者報告数	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0	0.01	0	0
咽頭結膜熱	患者報告数	143	166	170	180	178	176	162	130	53	39
	定点あたり患者報告数	2.04	2.37	2.43	2.57	2.54	2.51	2.31	1.86	0.76	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	患者報告数	155	154	139	203	205	210	170	162	57	90
	定点あたり患者報告数	2.21	2.20	1.99	2.90	2.93	3.00	2.43	2.31	0.81	1.29
感染性胃腸炎	患者報告数	135	146	154	169	190	223	243	162	113	219
	定点あたり患者報告数	1.93	2.09	2.20	2.41	2.71	3.19	3.47	2.31	1.61	3.13
水痘	患者報告数	9	6	6	12	2	6	4	2	7	2
	定点あたり患者報告数	0.13	0.09	0.09	0.17	0.03	0.09	0.06	0.03	0.10	0.03
手足口病	患者報告数	8	10	8	8	5	2	1	2	2	2
	定点あたり患者報告数	0.11	0.14	0.11	0.11	0.07	0.03	0.01	0.03	0.03	0.03
伝染性紅斑	患者報告数	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	定点あたり患者報告数	0.01	0	0	0	0	0	0	0.01	0.01	0
突発性発疹	患者報告数	4	8	6	8	3	5	7	3	6	4
	定点あたり患者報告数	0.06	0.11	0.09	0.11	0.04	0.07	0.10	0.04	0.09	0.06
ヘルパンギーナ	患者報告数	1	1	1	1	3	0	1	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0.01	0.01	0.01	0.01	0.04	0	0.01	0	0	0
流行性耳下腺炎	患者報告数	2	2	0	2	0	2	1	0	3	0
	定点あたり患者報告数	0.03	0.03	0	0.03	0	0.03	0.01	0	0.04	0
急性出血性結膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	患者報告数	5	6	2	5	10	4	8	7	9	3
	定点あたり患者報告数	0.45	0.55	0.18	0.45	0.91	0.36	0.73	0.64	0.82	0.27
細菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0.33	0	0.33	0	0	0
無菌性髄膜炎	患者報告数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	定点あたり患者報告数	0	0.33	0	0	0	0	0	0	0	0.33
マイコプラズマ肺炎	患者報告数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0.33	0	0	0.33	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆入院サーベイランス

基幹定点医療機関（市内 3 医療機関：北区、昭和区、中川区）より、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の発生状況が毎週報告されています。

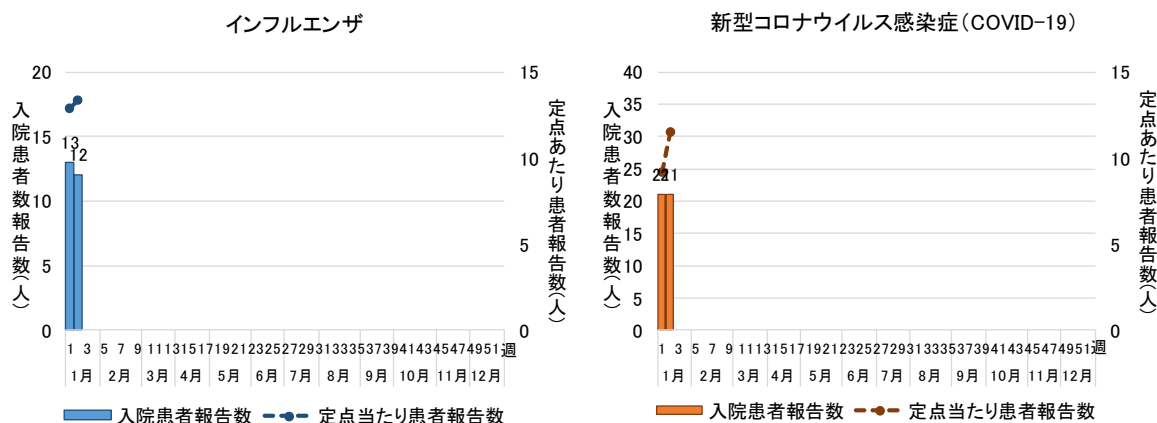
年齢階級別入院患者報告数（2024年第2週（1月8日～1月14日））

	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	0	2	2	0	1	0	0	0	0	2	3	2	12
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	3	12	21

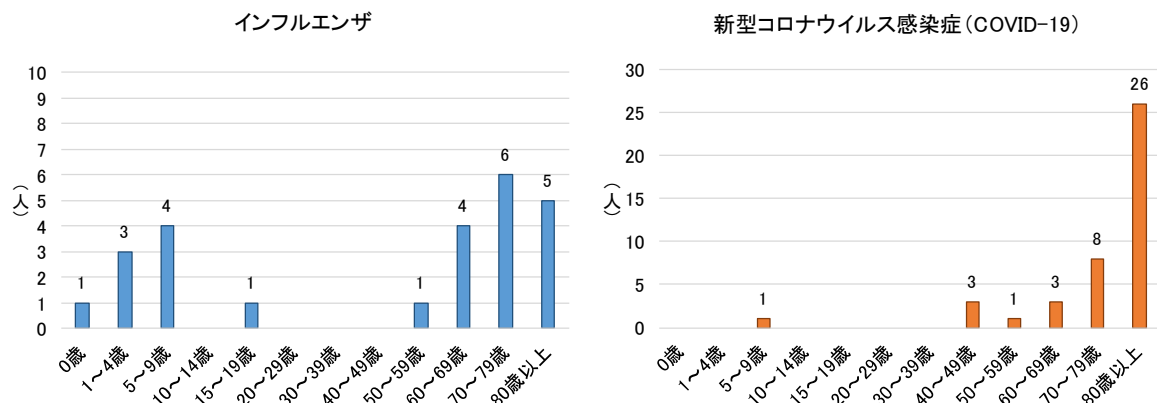
年齢階級別入院患者報告数（2024年累積）

	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	1	3	4	0	1	0	0	0	1	4	6	5	25
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	0	0	1	0	0	0	0	3	1	3	8	26	42

入院患者報告数および定点あたり患者報告数の推移（2024年）

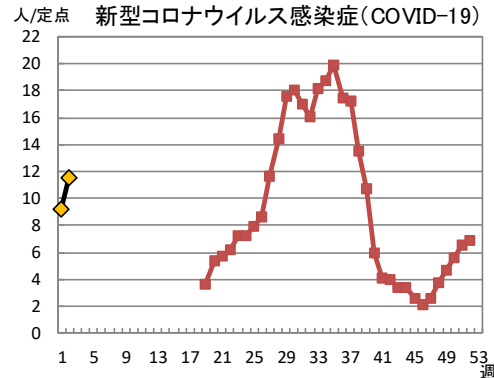
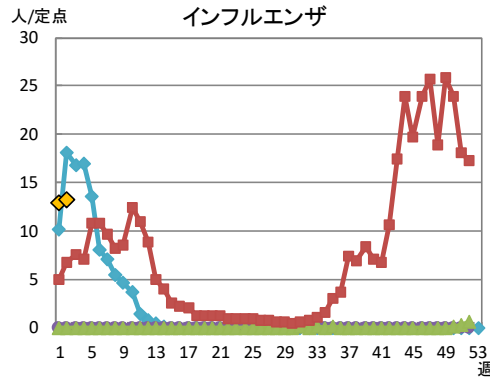


年齢階級別入院患者報告数（2024年累積）

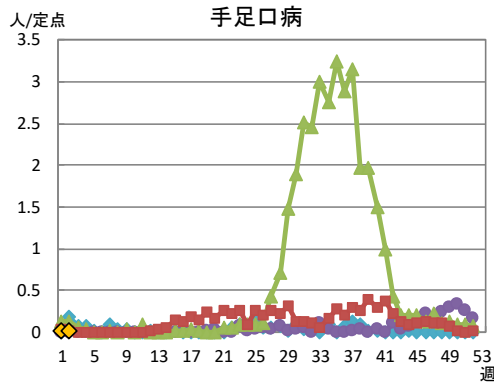
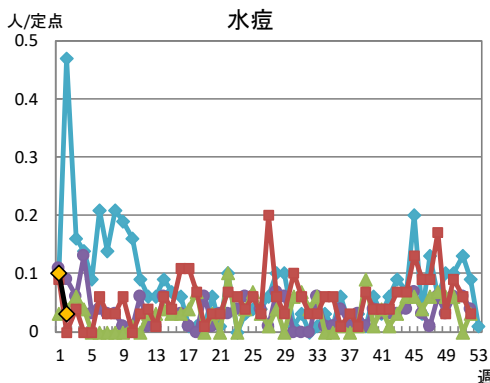
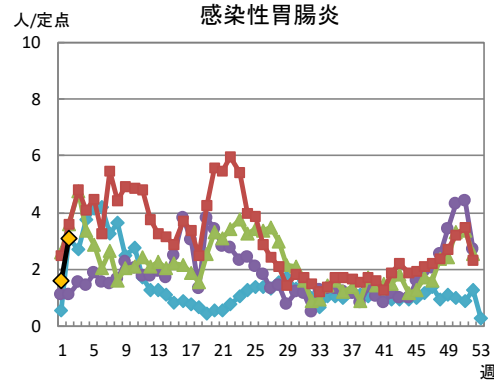
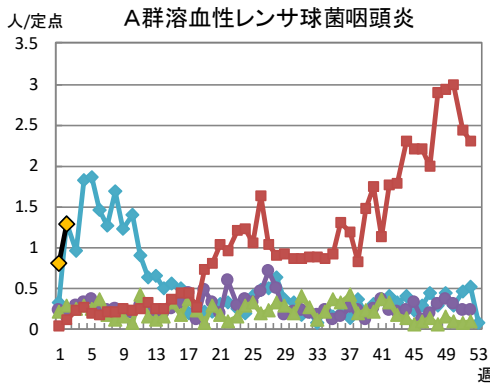
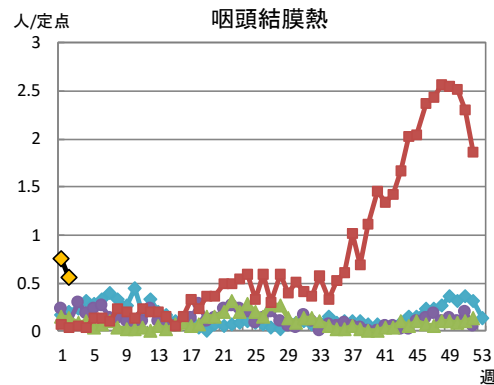
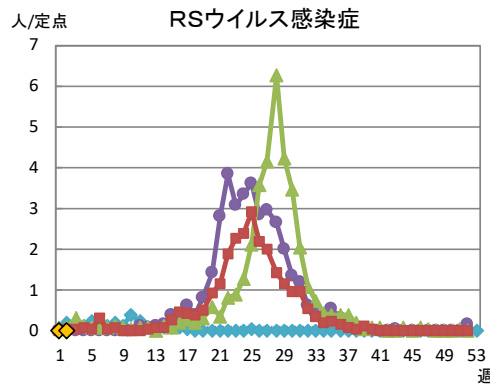


◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2024年第2週まで

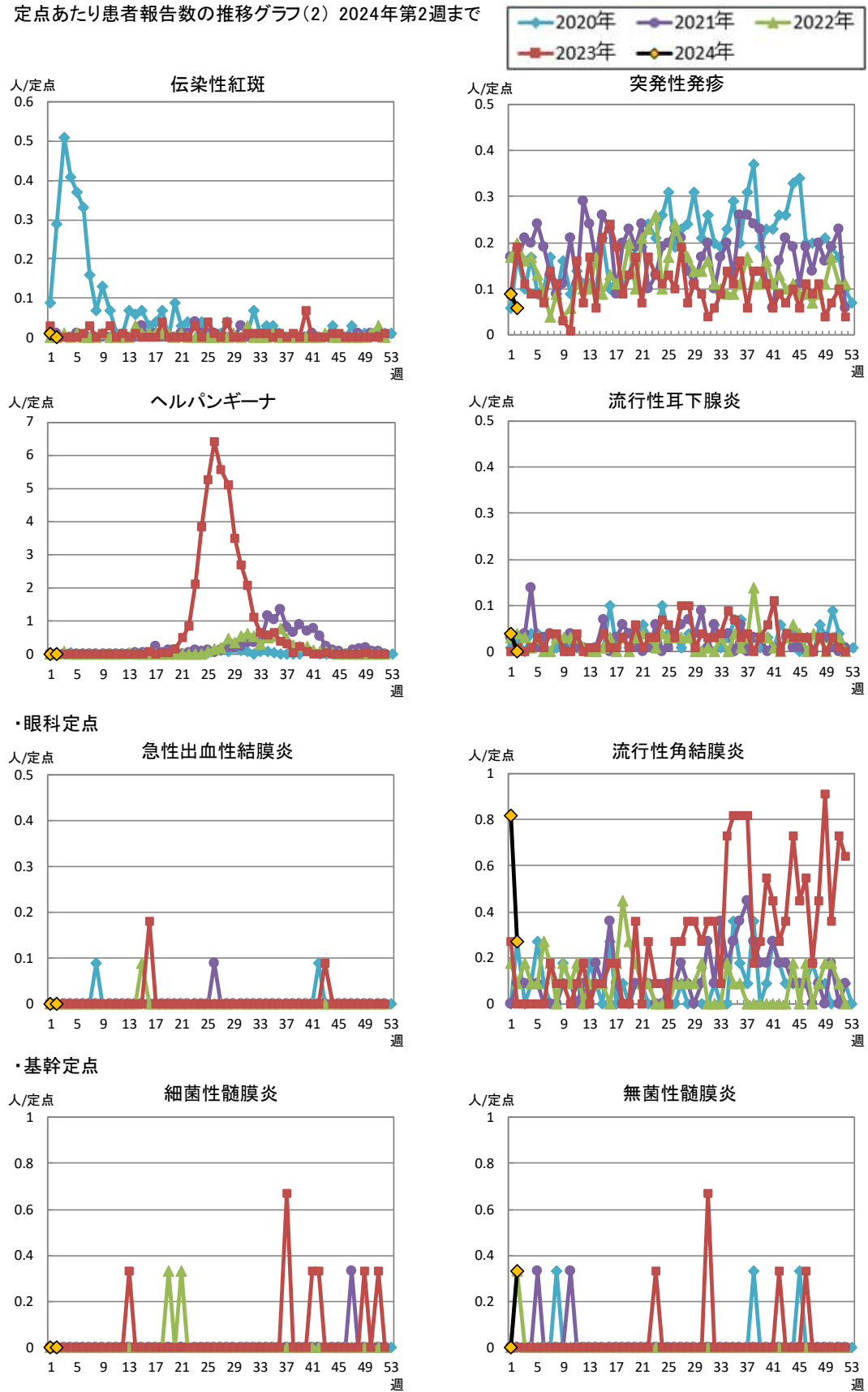
・インフルエンザ/COVID-19定点



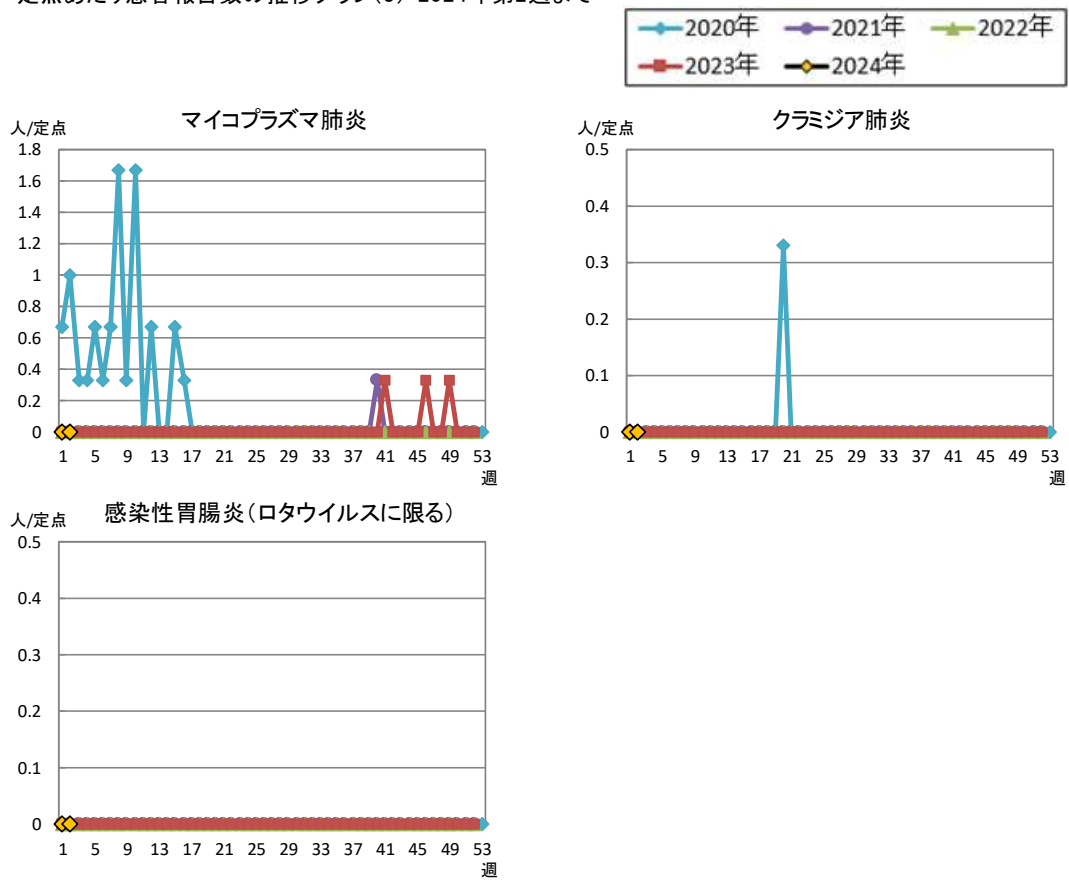
・小児科定点



◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2024年第2週まで



◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(3) 2024年第2週まで



◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2023 年 12 月分〕

基幹定点数：3（北区、昭和区、中川区）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2023年12月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	6	7
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1	1
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	0	1	7	8

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2023年12月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症					1	2		2	1	1	7
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				1							1
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	0	0	0	1	1	2	0	2	1	1	8

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2023 年 12 月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別でみると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症及び尖圭コンジローマの順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性 152 人、女性は 61 人でした。（表 2、図 1 参照）

2023 年 12 月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症では 15 歳から 49 歳および 55 歳以上の年齢階級で報告がありました。また、性器ヘルペスウイルス感染症では 20 歳から 29 歳および 35 歳以上の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマでは 25 歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。淋菌感染症では 15 歳から 44 歳および 50 歳以上の年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症 15 歳から 34 歳および 45 歳から 54 歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は 15 歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。また、尖圭コンジローマでは 15 歳から 34 歳までの年齢階級で、淋菌感染症では 20 歳から 34 歳までの年齢階級で報告がありました。（表 2、図 2 参照）

表1. 性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2023年12月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	4		17	2	5	51	7	4		6	6			5	1		108
性器ヘルペスウイルス感染症			5	1	1	23	4	1				1					36
尖圭コンジローマ			7	1		5	1			5							19
淋菌感染症	1		12		5	18	1			10				1	1	1	50
計	5		41	4	11	97	13	5		21	6	1		6	2	1	213

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2023年12月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		3	21	21	16	8	4	3		1	77
	女性		2	11	14	2			1	1		31
性器ヘルペスウイルス感染症	男性			3	1		3	1	1	2	3	14
	女性		1	1	5	1	3	1	2	4	4	22
尖圭コンジローマ	男性				3	3	3	2	1	1	1	14
	女性		1	2	1	1						5
淋菌感染症	男性		3	14	8	4	8	6		1	3	47
	女性			1	1	1						3
計	男性		6	38	33	23	22	13	5	4	8	152
	女性		4	15	21	5	3	1	3	5	4	61

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2023年12月)

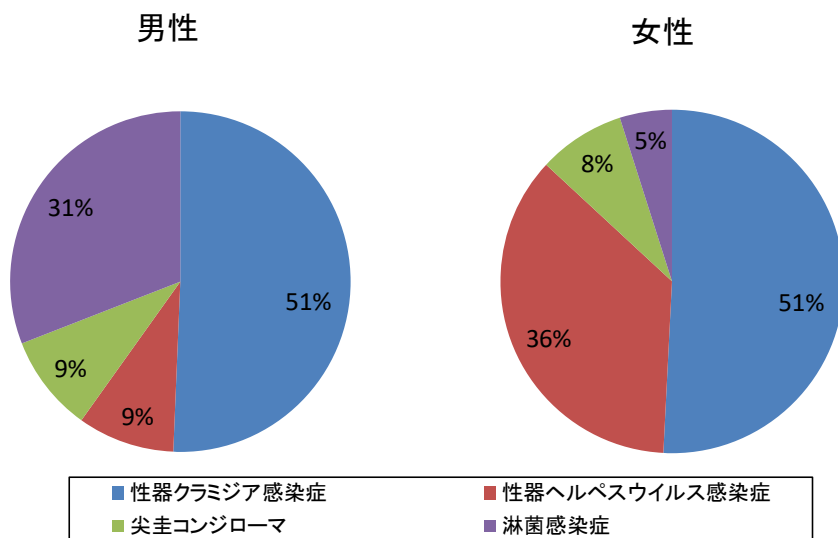


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2023年12月)

